

あまでうす

『踏切と信号』

わが家からいつもウオーキングをして

まず一つ目は、すぐ東側に苧ヶ瀬駅

一人いたが、一九六七年に無人駅となつた。駅員がいる頃、この駅は2面2線であつた。ここから鶴沼駅間は単線になつて

毎日ここで預かつて下校して来る時間帯がほとんど同じことを知ってか、預かり所のおばさんが親切に、何台も並んで

ち、かつての預かり所のスペースは庭になつて

次は二つ目の「高」山線の各務ヶ原道踏切が待ちかまえて

ぎかもしれないが：）ちなみに、この遮断桿だが、7秒ほどで下がり、4秒ほどで上がる。

そして三つ目は踏切ではなく、国道21号線山の前町交差点にぶつかる。ここまでに車が停滞している分、車列は長くなつて

切ではなく、国道21号線山の前町交差点にぶつかる。ここまでに車が停滞している分、車列は長くなつて

ののだが、なぜか帰りはスムーズに渡ることのほうが多い。

風地蔵新聞

第194号 題字 岩瀬桃谷 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 干503-0922 岐阜県大垣市馬場町85 ご感想・エッセイ・俳句・お便りお待ちします

さがバルーン

佐藤 凱翔

11月3日。毎年恒例3回目佐賀バルーン。朝5時出発。今年はずーとに車とめれるだろう！

20個。くらいで数えるの諦めた。なんとカバルーンの柄が見えるところに来たがまだ先は長い。急いで歩きながら

とビックリ。8時頃最後に上がるバルーン。子どもが好きなキャラクターや動物の形をした立体バルーン。クマさんにキツネさん「キツネさんの目こわいね」と

んのもットー。上がるで見れたしかなり早いがお昼ご飯。ここでのご飯を一番楽しみにしていたのは、やっぱりあおちゃん！ではなくママ！ママ！多分前

の中やつと見つけた！戻ると何か食べているママ。巨大フライドチキン。かぶりつとくつもりやっただけでもない、あげの骨に付いた少しの肉、持ち手付いたアルミホイルの下。1口2口。一生懸命探してたこ焼き買って来たのに。ママの意地悪。みんなご飯そろい食べる。パパは日田やきそば。去年と同じ店の物。

ちよつと立ち話

水の都、大垣市に
ご縁があつてうれし
い私、星谷志摩で
ございます。私は関
出身なので大垣市に
ついてはあまり詳し
くはなかつたので
が、去年から風地蔵
さんにお世話になつ
ておりまして、今
はとも大垣市が好
きになりました。

風地蔵さんのメニュー
はどれもとても美味
しくて、食いしん坊
の私には最高の場所
なのです。

そんな食い意地旺
盛な私なので、風地
蔵さんのメニューは
食べ尽くしたと思っ
ていたのですが、最
近になって「いかす

みそうめん」を食べ
ていないことに気付
きました。食
べてオドロキ！！こ
りや、うまい！！と
なりました。夏はと
うに過ぎてしまいま
したが、私のいかに
みそうめんブームは
まだしばらく続きそ
うです。（星谷志摩）

古民家で、グルー
プ展をするのは初め
てでしたので、どう
なるのか心配でした
が、店長副店長の人
柄がよく、とてもアツ
トホームな雰囲気
とても居心地がよく、
とつても素敵な時間
を過ごさせていただけ
ました。
また機会があれば
グループ展をやつて
みたいと思いました！
（鬼辰 カケル）

「聲の形」がきつ
かけで横浜より大垣
に來られた「たたた」
さん。映画だけでは
なく、変化していく
大垣をこんなに観て
下さつて感じていらつ
しやる事を初めて知
りました。2ヶ月に
1度くらい大垣に來
られ、風地蔵によつ
て下さいます。又色々
なお話を聞かせて頂
ければと、來られる
のを楽しみにしてい
ます。

何をするのも健康
な体があつてこそで
す。友達と会うとき
0代に入ったときか
ら体の話が多くなり
ました。
食事も睡眠の大切
さはこの年になつて、
すぐく分かつてきた
気がします。

店長やつと1年前
の旅行の話が終わり
ました。先日、九州
から帰つていらつし
たので旅の話が始ま
りますね。楽しみに
しています。（大橋）

今年の災害は大垣
は何故か守られてい
ましたので、よかつ
たですけど、本当に
他の方達は大変な思
いをされていますよ
ね。備えは本当に必
要だなと痛感します。
運動会の様子が手
にとるようになり
ますね。先日も福岡
の時はお世話にな
りました。とつても
楽しかったです。
健康第1ですよ。

「たたた」さん、大
垣にずっと住んでい
る私たちより大垣の
ことを知っていて下

さることに嬉しかつ
たです。
奥田さん、ラグビー
盛り上がりましたね。
残念ながら日本は負
けてしまいましたけ
ど、感動をもらいま
したよね。奥田さん
にはいつも風地蔵の
庭の手入れでは、無
理ばかりお願いして
いるのに笑顔でして
下さつて、ありがとう
ございます。

あまでうすさん、
スマホデビューおめ
でとうございます。
ラインデビューもさ
れて少しスマホにな
れましたでしょうか？
（鎌澤）

笑顔がいっぱい

大橋 美紀

今年もお店が4日
間お休みとなりまし
た。

店長は九州・オー
ナーの所に研修旅行？
に行かれました。私
は各務ヶ原の全盲の
友達と過ごすことに
しました。1人では
1歩も外に出られな
い友達です。我が家
への1泊旅行をと計
画を立てました。

1日目のお昼前に
車を1時間走らせて
友達を迎えに行きま
した。友達は首を長
くし待っていてくれ
ました。荷物を持ち、
2階の部屋から白い
杖をつき1歩1歩階
段を降り手を引き、
車に友達を乗せてさ

あ出発。行き先は我
が家。今回は友達と
会つたり私の母と会
うことが目的の旅行
です。途中、お昼を
食べることにしまし
た。全盲なので人一
倍、いや2倍以上何
をするの時間もか
かります。お昼を食
べようとお店に着い
ても、まず車から降
ろしてあげて、手を
引き1歩1歩ゆつ々
り歩きドアを開けて
友達を先に入れ、ド
アを閉める。今は、
ドアが2つあるとこ
ろが多いですよ。こ
そして引きドアもあ
れば押しドアもある。
足元も気をつけドア
にも気をつけ席に着
くまで気を抜くこと
もできません。

お昼は「なか卵」
でとることにしまし
た。メニューが來て

も手に器を持たせて
あげたり、こぼさな
いように見てたり、
熱いものはそばに置
かないようにと気を
つけてあげます。
トイレもです。手
を引く、便器の位置、
ペーパーの位置も全
部手招きで教えます。
お腹もいっぱいにな
り出発。ちよつと遠
道の駅に行きました。

何があるかを声に出
して、私は手を引き
伝えていきます。柿
が欲しいと200円
で8個入つてる富有
柿を買ひ少しお茶を
飲み、休憩をしてか
ら我が家に向かいま
した。

今夜会う友達は、
私は何度か会つてい
ますが皆は、高校を
卒業して1回同窓会
の時に会つたつきり

で34年ぶりの再会
です。我が家に着き、
まず一人で行けるよ
うにとトイレへ行く
トレーニングをしま
した。さあメインイ
ベントの時間です。
皆との待ち合わせの
店に向かいました。
もう先に皆は着いて
いました。目が見え
なくなつたことは、
私が前々から皆には
言つてありましたが、
でも、目が見えない
事なんて忘れていて
かのように食事をして
ながら30年以上も
会つていなかったの
に自然に学生の時の
話や、今のこの話
で盛り上がりお店の
閉店の時間になつて
しまいました。

私は全盲の友達の笑
顔が沢山見れたこと
がそばで見えていて、
1番嬉しかった。次

の日、私の母と一緒
にランチをすることに
なつていました。
私が結婚する前、よ
く実家に遊びに來て
いたので、どうして
も私の母に会いたい
と友達が言つていた
のです。母と待ち合
わせの店に行き、こ
こでも口は忙しかつ
た友達。おしゃべり
し、食べておしゃべ
りをし笑つてここで
も笑顔いっぱい見せ
てくれた友達。そし
て、とても母に会え
たことを友達は喜ん
でくれました。母と
別れ、寄り道をしな
がら送つていきまし
た。

本音を言うとは私
とても疲れしました。
でも友達が喜んでく
れたことは、私にとつ
て1番幸せな事だと
感じた2日間でした。

川風

しらいしみほ

霜月というのに、朝の散歩でさえ、半袖でいいときがある。土日は、夏のような太陽の下、あちこちで農業祭がひらかれてる。祭り好きからすれば、毎月、まんべんなくしてくれないものか、と思うほど、行きたい行事が重なっていい。体は一つだ。お盆もお彼岸も行きおびれていた。熊本の本墓参りがずつと気になつていった。ちよとど合志市の農業公園で熊本県のJAが主催するフェアがひらかれた。そこへ行ってその足で、砥用、山超えて小川の墓参りのはしごとした。りおんが歩いて行つたらどれくらいかかると聞く。そうやなく1日かかるとお父さん。1日はオーバーだと。しても休み無しで45時間はかかるだろう。小川の実家から墓まで歩こうか。そうだと、あたしらんちやんが生まれる前のおんに描いた絵手紙の道を歩こうね。壁に貼ってある。実現するぞ。

りおんが小さいとき、年ぶりでろうか。20年ぶりに、おなかの子も一緒に家族全員で歩いた。家のまえに車を停めたら

脇の小道へ滑り込む。ここはね、蛍がいっぱいおつたとよ。竹ぼうきの音がた方をポワンポワンと暗闇に浮遊する先にサツとふると、蛍がササの先に引つかかる。大人の姿はないのだから、どうやら子盗りはいなかったらしい。みいちゃん、手ば出したらいかん。ぼい。光つとるの。ひらくち(毒蛇)の目ん玉かもしれん。2つ5つ6つ上のお姉ちゃん達の声が。蛍のあとから飛んでいく。

ばあちゃん、電気を消すと、枕元の床の間に置いた虫かごが。黄緑色に大きくなつたりボリュウムを落としたり、それを眺めながら布団ごとふわりふわりと眠りに落ち心地よい眠りにさらわれた。

翌朝、かごの中は決まって空っぽだった。なんで！とさわぐ。ばあちゃん、優し気は。今書きながら気がついた。

ふつと目に入ってきた。わたしが、稲刈りも終わった。横には水は空の横ぼと乾いた水路をIとあおちやんが。手をつかないで歩いてきた。そのうしろから。いとしらちやんも。続く。ドシドシと、音が。地面をゆらす。

石の橋から入った道。くはきまっつて、蛇が真夏に。昼寝しに。出てきた。な

こつちきて！お寺と反対方向の右へ進路を変えた。ここは神社だった。あれ、大きなほこらが。石切の階段を登ったところ、高床式の柱と床と屋根のほこら。夏は格好の涼み場所になる。昼寝をしてみんなで横の柿の木に。アオダイショウも昼寝してる。



三で50年同じよしたんよ

ちよつとビックリするけれど、オダイショウの邪魔はしない。柿の木だと思っていなかった。どうでもいことをつい気になつてみている。

水が湧く井戸はふたをして埋めてあった。こんこんとわき出す池にどこからきたのか、キラキラと小さな魚も泳いでいた。

その池に木にかかると、登らさ。きれたらと。小究心者は

がむき出しで、足をこつちあつちと持つて教えてくれるのだ。出すと足がすくむ。泣き出した。どうやって降りたのかは、思い出せない。あるときは、オレンジ色に輝く田んぼに座って、髪飾り、白レングを採った。すべを覗いていた。小さな新築コンクリートのほこらのお地蔵さんに皆で手を合わせた。

BAがお世話になりました。トトロの世界だ。

この時間は、あたし死ぬときに思い出すリストに入れておく。

庭師と医師の目

松の葉っぱが目刺さった。今回は重症。白目が腫れ飛び出して、白目全てがドス黒い。余りにも見た目が酷いので薄い色のサングラスを購入。お客さんにもどうしたの？と毎回聞かれてめんど臭くなる。

「嫁さんと喧嘩したんです」と言うのと大抵「チーン」となる。冗談が過ぎる。。。

メンバー皆んなで恒例の健康診断を受診。心電図や聴力や身長体重など全ての担当の方に「目どうしたんですか？」と聞かれる。まあ専門家だから当然か。色々アドバイスを頂ける。

最後は医師の診断があり、検診も終了。おじいちゃん医師。診断結果の書類を診て、それから聴診器など。

「何かスポーツやってた？良い体してるね」「庭師なんです」そして、「全て健康、まったく異常なし！」

ズッコケる。昔のお医者さんは目を見て話さないと批判があったけど。。。

庭師 奥田良樹